

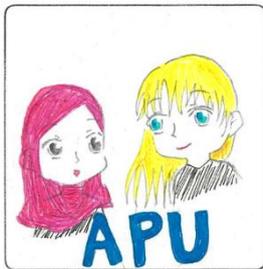
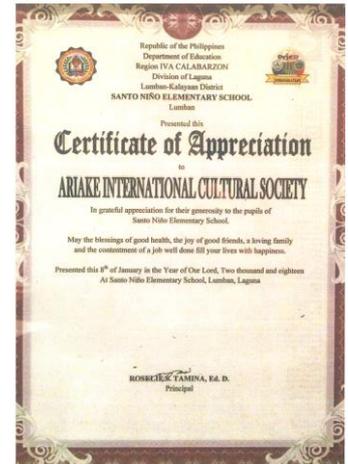


玉高附中では、地元の「ありあけ国際交流会」の皆様の活動、使われなくなったランドセルなどをフィリピンの学校へ贈る活動に協力させていただいています。今回、フィリピンから「ありあけ国際交流協会」の皆様が届いた感謝状と活動の様子(写真)を紹介します。



5/31(木)の生徒朝会では、生徒会から玉高附中生徒へ活動と感謝状について、紹介をしました。

玉高附中3年生は、6月7日～8日の2日間、立命館アジア太平洋大学(APU)で英語合宿を行いました。この研修のメインは、留学生の方々に英語でインタビューをして、その結果を整理して、留学生の皆さんの前でプレゼンテーションをするというものです。もちろん、発表は英語です。生徒のみなさんの“気づき・想い・感じ、”をご紹介します。



今回の英語合宿では、APUに行きました。私は、最初APUという大学があることも知りませんでした。APUに行くにあたって、3年生でいろいろな国について調べました。その中で、知っていたことや知らなかったことなど、たくさんの国のことについて知ることができてよかったです。

私たちの班では学校の生活についてインタビューしました。それぞれの国の人にインタビューをすると、国ごとに、学校のきまり、イベント、始まる時間や終わる時間がちがうことがわかりました。その後に、英語をつかってプレゼンをしました。各班ごとに調べる内容がちがって、おもしろかったです。日常で英語をつかうことは学校ぐらいしかありませんでしたが、一日中英語に触れることができてよかったです。(太田さん)

6月7日、8日で英語合宿に行きました。すべてが英語のしおりを読んで、全く内容が分からず、正直、楽しみにはしていませんでした。また、英語が苦手なので、外国の方と話せるのか不安でした。いざ、外国の方と話してみると、みんなフレンドリーで、私たちにも分かるような英単語を並べてくれ、不安が一気になくなりました。その後のフリーインタビューも、私たちの考えとは全く違う外国の方の考えが聞けて、とても楽しかったです。



最終的なプレゼンでは、緊張してしまっていて覚えていたことが出てこず、カタコトにはなってしまったけれど、みんなが笑いながら楽しく発表を聞いてくれたので良かったかなと思います。

今までは、英語苦手、嫌い、と自分から悪い方へ進んでしまっていたけれど、実際に英語を使ってコミュニケーションがとれるととても楽しいんだということがわかりました。これからも、英語の勉強にはげんでいきたいです。

(山下さん)

英語合宿一日目の夕食後にホテルで、班ごとにプレゼンテーションの準備に追われました。各班それぞれの工夫があって、とても楽しそうに取り組んでいました。 2018.6.14 副校長 山部